

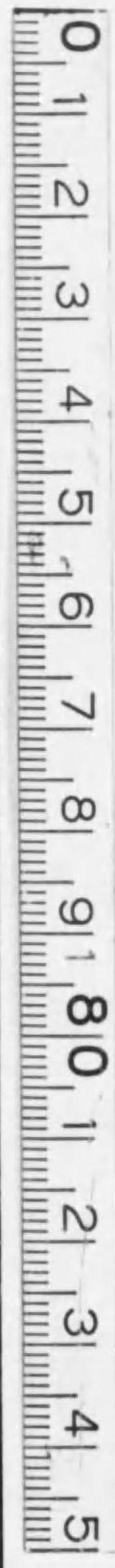
特252

199

第二二六號
八年四月

太平洋諸島面積人口表

財團法人 南洋經濟研究所



始



特252
122

はしがき

南方諸地方の面積、人口等の統計表の如きは甚だ簡單なるに似たれども未だ一冊に整理綜合せられたるものなし。仍て本研究所に於ては此の點に志し地理學專攻の篠田九萬太氏に委嘱して、先づ南方全般より逐次各地方詳細に及んで面積及人口統計を整理し、取敢へず南洋資料として刊行し、完成の上、綜合して一冊の統計書を編纂せんとす。

昭和十七年十二月十六日

財團法人 南洋經濟研究所

發行所寄贈本

太平洋諸島面積人口表 目次

- 一、ビスマルク諸島 Bismarck Archipelago
- 二、ソロモン諸島 Solomon Islands
- 三、舊濠委任ソロモン諸島 Solomon Islands (Australian mandatory territory)
- 四、舊英領ソロモン諸島 British Solomon Islands Protectorate
- 五、サンタクルーズ諸島 Santa Cruz Islands
- 六、トーレス諸島 Torres Islands
- 七、バンクス諸島 Banks Islands
- 八、ニューヘブライズ諸島 New Hebrides Islands
- 九、ロイヤルティ諸島 Loyalty Islands
- 一〇、ニューカレドニア島 New Caledonia Island
- 一一、フィジー諸島 Fiji Islands
- 一二、トケロウ諸島 Tokelau Islands
- 一三、サモア諸島 Samoa Islands
- 一四、トンガ諸島 Tonga Islands
- 一五、ケルマデック諸島 Kermadec Islands



一六、クツク諸島	Cook Islands	★
一七、マニヒキ諸島	Manihiki Islands	★
一八、ソシエテ諸島	Society Islands	★
一九、ツブアイ諸島	Tubuai Islands	★
二〇、ラバ諸島	Rapa Islands	★
二一、パウモツ諸島	Paumotu Islands	★
二二、ピットケーン島區	Pitcairn Island D	★
二三、ラバヌイ島	Rapanui Island	★
二四、マルケサス諸島	Marquesas Islands	★
二五、ナウル島	Nauru Island	★
二六、オーション島	Ocean Island	★
二七、ギルバート諸島	Gilbert Islands	★
二八、エリス諸島	Ellice Islands	10
二九、フェニックス諸島	Phoenix Islands	10
三〇、フアイニング諸島	Fanning Islands	11
三一、ハワイ諸島	Hawaii Islands	11

太平洋諸島面積人口表

資料出所

- 一、面積は世界地理第十卷濠洲太平洋（河出書房發行）及 STATESMAN'S YEAR-BOOK に據り、海圖及陸地測量部發行太平洋輿地圖の計測を併用す。
- 二、人口は STATESMAN'S YEAR-BOOK、水路誌、世界地理第十卷及地理教育太平洋研究號の統計を用ふ。

番號	地名	面積	年	人口	密度
一	ビスマルク諸島	四七、一〇〇 ^{平方}	一九二六 一九三五 一九三九	一一二〇、四五九 ^人 一三九、五七三 一四四、一六六	二一・五 ^{平方} 二・九 三・〇

此の諸島はニューギニアの東方に在り、其の南東方は廣い深水水道を隔ててソロモン諸島に對して居る。總面積は我が九州より稍大にして、行政上ニューギニヤ委任統治區の一部をなして居た。ニューブリテン島、ニューアイルランド島、ラゲオング島及びアドミラルティ諸島を以て主島となし、何れも火山島で海岸は珊瑚礁が存在する。

註一、面積は濠洲ニューギニア風土誌に據る。

番號	地名	面積	年	人口	密度
二	ソロモン諸島	三九、八七〇	一九二二—一九二六 一九三一—一九三五	二〇六、一六八 一三五、〇九〇	五・二 ^{平方} 三・四 ^{平方}

ソロモン諸島はビスマルク諸島の東南に位し、其の總面積は我が九州より稍小である。北部の濠洲委任統治領と南部の英保護領に分れる。

註一、英保護領は一九二二年、濠洲委任統治領は一九二六年。
註二、英保護領は一九三一年、濠洲委任統治領は一九三五年。

番號	地名	面積	年	人口	密度
三	濠洲委任ソロモン諸島	一一、〇七〇	一九二六 一九三五 一九三九	五五、六七五 四〇、九八五 四六、四八二	五・〇 三・六 四・一

太平洋諸島面積人口表

太平洋諸島面積人口表

ソロモン諸島北部のブーゲンビル島、ブカ島を主島とし、ヌタリア諸島、ニツサン島、キリナイラウ諸島、ヌクマス諸島を屬島とする。其の面積は我が四國の約七割に達し、地帯構造的にはビスマルク諸島の山系と結合して居る火山島である。
註、面積は陸地測量部發行の太平洋輿地圖の計測に據る。

四 舊英領ソロモン諸島

二八、八〇〇	一九二二	一五〇、四九三	五・三
	一九三一	九四、一〇五	三・三

此の諸島はショートランド諸島、ナヨイセウル島、イサベル島、マライタ島、グエララゲエラ島、コロンベンカラ島、ニューデューチア島、ヴァングヌ島、バウゲ島、グアダルカナル島、フロリダ島、サンクリストゲル島等十數個の大島及其の屬島を以て構成す。メラネシア特有の熱帯多雨林、活動的な火山作用、隆起珊瑚礁を有する。總面積は我が四國の約一倍半である。
註、面積は陸地測量部發行の太平洋輿地圖の計測に據る。

五 サンタクルーズ諸島

九七八	一九二六		
-----	------	--	--

ペニコロ島、アタプタ島、サンタクルーズ島を主島とし、チナクラ島、ニベンガ島、バネビ島、レンロン島、フェヌウアロア島、ヌウフイロイ島、ビイレニイ島、サンド島、マチマ島、ナカブ島、ナロゴ島、スパニ島、ダブ諸島等の面積二〇方軒より一方軒に互つての小島を屬してゐる。總面積は我が對島より稍大きい。
ペニコロ島、アタプタ島、サンタクルーズ島には住民があるが其の數は明かでない。
註、面積は海圖の各島嶼面積の計測に據り、人口は水路誌に據る。

六 トーレス諸島

一一一	一九二六		
-----	------	--	--

ニューヘブライズ諸島の北方、サンタクルーズ諸島とバンククス諸島の略中部に位する。トীগー島、ロー島、テグア島、メトマ島、ヒイウ島、チユビア島、チエリー島の火山島を以て構成す。其の總面積は我が小笠原諸島より稍大である。水路誌に據ればチエリー島に六二名の住民を算し、トীগー島、ヒイウ島にも又居住者を見る外は殆ど無居住の島嶼である。
註、此の諸島の面積は海圖の各島嶼面積を計測せる結果なり。

七 バンクス諸島

七〇〇	一九〇七	五、〇〇〇	七・一
-----	------	-------	-----

ニューヘブライズ諸島の北方に位し、メラ・ツヴァ島、サンタマリア島、グアヌアラグア島、モター島、サドル島、リーフ諸島、ウレバアラアバアラ島を以て構成する。其の總面積は我が對島と略同様で、リーフ諸島には居住者を見ない。
註、此の諸島の面積は海圖の各島嶼面積を計測の結果にして、人口は水路誌に據る推定人口である。

八 ニューヘブライズ諸島

一五、〇〇〇	一九三〇	六一、一五〇	四・一
	一九三七	四一、三二六	二・七
	一九三九	四一、一〇四	二・七

ソロモン群島の南東に續き南緯一三度と二一度、東經一六六度と一七〇度との間に横はつて居る。北方よりサント島、マレクラ島、オローラ島、アサオ島、ベントコツト島、アマプリン島、エビヌハタシコ島、グアテ島、エロマンゴ島、タンナ島、アネイチニウム島等の火山島連り、其の總面積は我が四國より稍小である。
註一、水路誌に據る。註二、註三、STATESMAN'S YEAR-BOOK に據る。面積は世界地理十卷に據る。

九 ロヤルタイ諸島

二、二〇〇	一九三一	一一、〇三〇	五・〇
-------	------	--------	-----

ニューカレドニア島の東方に位す。マレ島、オグニア島、リフウ島を主島とし、其の他一平方軒に達しない小島を屬島とし太平洋諸島面積人口表

て諸島を形成して居る。其の總面積は我が沖繩縣より稍小にして、三大島を除く屬島には居住者を見ない。
註、此の諸島の面積は海圖の各島嶼面積を計測せるものなり。人口は水路誌に據る。

一〇 ニューカレドニア島及屬島 約二〇、〇〇〇

一八五三	七〇、〇〇〇	三・五
一九三一	五七、一六五	二・八
一九三六	五三、二四五	二・六

我が四國と略同面積のニューカレドニア島にクニエ島等の屬島を含む。標高千米の並行山脈が本島の長軸に沿ひて縱走し、幾多の河川が中央山脈に源を發し、急流をなして海岸に注いでゐる。人口は激減の傾向にあり現在二萬八千人とも稱せられる。
註、面積は陸地測量部發行の太平洋輿地圖の計測である。

一一 フイジー諸島 一九、二五六

一九二一	一五四、八六四	八・〇
一九三一	一八五、五七三	九・七
一九三七	二〇五、三九七	一〇・七

フイジー諸島は東經一七七度―西經一七八度、南緯一六度―一九度の間に分布し、英領に屬する。グイチ・レグ島、グアマア・レグ島を主島とし、カンダウ島、ダグエウニ島、コロ島、オパロウ島、モアラ島、ラウ群島、ヤサワ群島等を含む。
總面積は我が四國より稍大にして、小島は總べて珊瑚礁よりなり、高度の大きい島々は皆新しい火山島である。
註、一八〇〇年は二五萬であつた。面積は世界地理第十卷に據る。

一二 トケロウ諸島 一四

一九二六	一、〇三三	七三・七
------	-------	------

サモア諸島の北部、南緯七度より一〇度の間に位して居る。ヌクノノ島を主島となし、アタフ島、ファカアアオ島、スウエイン島等を以て構成す。スウエインは米領で他は英領である。

一三 サモア諸島 三、〇八八

一九二六	五一、五五〇	一七・〇
一九三四	五二、四八七	一七・三
一九三八	七〇、〇〇〇	二三・三

此の諸島はトンガ諸島の北約一〇〇軒、フイジー諸島の北東約八〇〇軒に在り、經緯度から言へば南緯一三度乃至一五度、西經一六七度乃至一七三度に位し、總面積は我が沖繩縣の約一倍半である。
西サモアのサウアイ島、ウボル島はニューギニア島の委任統治領であり、東サモアのツツイラ島、マヌア諸島、ローズ島は米領である。東端に位するローズ島を仰げば、火山形成のもので、大部分珊瑚礁に取圍まれて居る。
註、面積は世界地理第十卷に據る。

一四 トンガ諸島 九九七

一九二六	二五、九一八	三一・一
一九三二	二九、四五四	三一・五
一九三九	三二、八六二	三二・九

太平洋の大深海溝の西に當り、廣い範圍に分布して居る約一〇〇の島群で、其の西方の境界はフイジー諸島の東方の境界である。其の總面積は我が千島と略同様である。
ケツベル島(ニューアトビタフ)、ババウ島、トンガフ島、エウア島は主要なる島嶼。此の諸島の西方連領は、火山性の構成

で、東方のそれは珊瑚性である。
註、面積は世界地理第十卷に據る。

一五 ケルマデック諸島 三三三 一九三〇 〇 〇
 ニュージールランドの北方、太平洋深溝の西に位する。ラオル島、マツコレイ島、カーチス島より成る無人島である。
 註、面積は STATESMAN'S YEAR-BOOK、人口は水路誌に據る。

一六 クック諸島 三六八 一九二六 一三、八七七 一三七・五
 一九二六―一九二八 一〇、〇九五 二七・一

サモア諸島の東方に位し、緯度から言へば南緯二度乃至二五度、西經一五五度乃至一六八度の間に位す。マンガア島、ラ
 ロトンガ島、マウケ島、マテイアロ島、アナ島、ダクタア島、ヘルベイ島、アチウ島、バルメストーン島の南クック諸島とサ
 モア諸島北東に位するニウエ島、トレガレワ島、マニヒキ島、ラカトンガ島、ダアンジャ島、ナサウ島等の北クック諸島に分
 たれる。其の總面積は我が臺灣島より稍大にして、上述の島には何れも居住者を見る。

一七 マニヒキ諸島 約一〇〇 一九二七 五一 〇・五
 西經一五〇度乃至一六二度の間に位する。マンデリ島、

ソシエテ諸島の北方に在り、緯度から言へば南緯五度乃至一二度、西經一五〇度乃至一六二度の間に位する。マンデリ島、
 スターバック島の一群北部に、マニヒキ島、フリント島、ポストツク島、カロリン島の一群南部に存する。水路誌に據ればフ
 リント島、カロリン島の二島を除きては何れも居住者を見ず、其の總面積は我が臺灣島より稍小である。

一八 ソシエテ諸島 一、六五二 一九二六 一七、七九八 一一・〇

此の諸島はサモア諸島の東方に在り、緯度から言へば南緯一五度乃至二〇度西經一四八度乃至一五八度の間に位する十四の
 島嶼から成る。諸島は南東季節風に対し風下の西方のリーワード諸島と東方のウインドワード諸島に分たれる。前者にはモツ
 オネ島、フェヌアアウラ島、モビハア島、マウピチ島、ツバイ島、ボラボラ島、タハア島、ライアアア島、ファヒネ島、後者
 にはツプアイマス島、テチアアア島、モーレア島、タヒチ島、メヘチア島等あり、其の總面積は我が佐渡島の二倍に達す
 る。リーワード諸島の半数の島は無居住島である。

一九 ツプアイ諸島 二八六 一九二一 二、二六三 七・八
 (オーストラル諸島) 一九三八 三、〇七四 一〇・七

ソシエテ諸島の南方に在り、緯度から言へば南緯二二度乃至二九度、西經一四一度乃至一五五度の間に位する。マリア諸島
 リマタラ島、ルルツ島、ツプアイ島、ライババ島より成り、其の總面積は我が臺灣島の約二倍に當る。上述の島嶼には何れも
 居住者がある。

二〇 ラバ諸島 二九七 一九二六 三、一七〇 一〇・三

ツプアイ諸島の南方に在り、緯度から言へば南緯二五度乃至三〇度、西經一四二度乃至一四八度の間に位する。此の諸島は
 ラバ島、マロチイリ島、ランカスター礁を以て形成され、其の總面積は我が臺灣島の約二倍に當り、ラバ島のみ居住者を見
 る。

二一 パウモツ諸島 六五〇 一九〇〇 六、〇〇〇 九・二

太平洋諸島面積人口表

太平洋諸島面積人口表

八

一九二六	四、二七六	六・三
一九三八	四、三四六	六・六
ソシエチ諸島の東方に位し、一にタウモツ諸島と呼ばれる。無数の低平な小珊瑚礁の群から成る所からロウ群島の名もある。緯線度から言へば南緯一四度乃至二三度、西經一三二度乃至一四八度の間に位し、其の間の八五の環礁群を以て構成さる。其の總面積は我が對島より稍小にして島嶼の過半数は無居住島である。		
註、此の諸島の面積は海圖の各島嶼面積を計測せし概數である。		

二二一 ビットケイン島區

六

一九二二	二二三〇	三八・三
一九三六	二〇九	二四・八

パウモツ諸島の東南方に在り、緯線度から言へば南緯二三度乃至二六度、西經一二五度乃至一三二度の間に位す。ビットケイン島を主島となし、ヘンダーソン島、オエノ島、トアウ島を含む。

二二三 ラバヌイ島區(チリ領)

約一〇

一八六三	一、五〇〇	一五〇・〇
一八六七	九〇〇	九〇・〇
一九一六	二二二一	二二・〇

パウモツ諸島の東南方に在り、緯線度から言へば南緯二五度乃至三〇度、西經一〇五度乃至一一〇度の間に位す。ラバヌイ島及其の北方のサアレイゴメツ島の二小島より成る。

註、面積は推定せる概數である。

二四 マルケサス諸島

一、三〇〇

一九二六	二、二五五	一・七
------	-------	-----

一九三六	二、四〇〇	一・八
------	-------	-----

パウモツ諸島の北方に在り、緯線度から言へば南緯八度乃至一二度、西經一三五度乃至一四五度の間に位す。ファチユヒワ島、タアファタ島、ヒワオリ島、ワボウ島、ワフカ島、マクヒワ島、アイアウ島、ハタタ島、コーラル諸島を以て構成され、其の總面積は我が對島の面積の約二倍に當る。コーラル諸島を除く他の島嶼には何れも居住者がある。

二五 ナウル島

二二二

一九二七	二、一六三	九八・三
一九三八	三、四〇〇	一五四・五

赤道の南約四〇軒、東經一六六度五六分に在り、退潮の時に露はれる礁で圍繞されて居る周圍約二〇軒の橢圓形の環礁で、燐の産がある。

註、面積は海圖の計測である。

二六 オイシヨン島

六

一九二六	二、三八六	三九七・六
一九三五	二、六八八	四四八・〇
一九三八	二、七四四	四五七・三

ナウル島の東方、東經一六九度五〇分、南緯一度の地點にあり、燐の産が多い。

註、面積は海圖の計測である。

二七 ギルバート諸島

四三〇

一九二六	二二三、四一〇	五四・四
一九二九	二二三、六五九	五四・八
一九三七	二八、二六五	六五・五

太平洋諸島面積人口表

九

我がマーシャル群島の東南に續き北緯五度より南緯五度に至る間に位する。小マキン島、マキン島、マラカイ島、アバンアン島、タラワ島、マイアナ島、クリア島、アラモカ島、アベママ島、ノノンテ島、タビトエア島、ヌクナウ島、ベル島、オノトア島、タマナ島、アロエ島等の島々を含んでゐるが、其の總面積は我が隠岐島より稍大なる程度であり、上述の島嶼には何れも居住者がある。

二八 エリス諸島

一九二六	三、五八二	九九・〇
一九三五	四、四四九	一一三・三
一九三七	四、一五一	一一五・二

此の諸島はギルバート諸島の南々東に續き、フィジー諸島の北方に位し、南緯五度より一二度に至る、東經一七六度より一八〇度に至る間に在り、ヌラキタ島、ヌクレレ島、フナフナ島、ヌクフエタウ島、サアイツプ島、ヌイ島、ニウタオ島、ナヌマガ島、ナヌマア島等の島々を含むが、其の總面積は我が南洋群島のテニアン島の半ばにも達せず、上述の島嶼には何れも居住者がある。

二九 フェニックス諸島

四一	一九一四	五九	一・四
	一九三七	六二	一・五

ギルバート諸島の南東に在り、緯度から言へば北緯五度乃至南緯五度、西經一六五度乃至一七八度の間に位す。ホーランド島、バケーア島、カントン島、エンターペリイ島、フェニクス島、シドニー島、ホール島、マツケアン島、ガードナー島等北西方より南東方に並び、其の總面積は我が南洋群島のテニアン島の半ばにも達せず、ホール、シドニー兩島を除いては無居住島である。

三〇 ファーニング諸島

二、二〇三	一九二八	四七三	〇・二一
	一九三八	三九五	〇・一七

ハワイ島の南方に在り、緯度から言へば北緯〇度乃至一〇度、西經一五五度乃至一六五度の間に位する。北方よりバルミラ島、ワシントン島、ファリーニング島、クリスマス島、ジャーパービス島並び、其の總面積は我が琉球列島と略同じである。バルミラ島には居住者を見ない。

三一 ハワイ諸島

一六、六八〇	一九二〇	二五五、九一二	一五・四
	一九三〇	三六八、三三六	一一・一
	一九四〇	四二二、三三〇	一二・五

ハワイ諸島は太平洋の中央に位し、北緯一八度四分乃至二五度一分乃至四分に至り、西經一五四度四分乃至一六〇度一分乃至四分に至る位置に在る。ハワイ島、オアフ島、カワイ島、マワイ島、モロカイ島、ラナイ島、ニイハウ島、カフラウエ島の八大島及數箇の無人島よりなる熱帯地で、火山作用で構成されたものである。其の總面積は我が四國より稍大であるが人口は四國の一割三分に達しない。

443
74

昭和十八年十月十日印刷
昭和十八年十月十五日發行

額價金 二十錢
特別行爲稅相當額 一錢
合計金 二十一錢

編輯人 代表者 小西千比古
印刷者 印刷所 長野縣岡谷市橋原
合名 會社 點澤印刷所

發行所

東京都赤坂區表町四丁目一番地
財團法人 南洋經濟研究所出版部
振替貯金口座東京一四五八二二番

終

